

千里中央病院 緩和ケア内科にご紹介いただいた患者さんおよびご家族の方へ

「緩和ケアにおける複雑性と患者背景および臨床アウトカムの関連性の検討：

後ろ向き観察研究」へのご協力をお願い

当院では、当院に提供された診療情報を用いて後ろ向き観察研究を行う予定としております。この研究の対象者に該当する患者さんまたはご家族で、研究参加を希望されない場合は、末尾に記載の問い合わせ先までご連絡ください。

【研究課題】

緩和ケアにおける複雑性と患者背景および臨床アウトカムの関連性の検討：後ろ向き観察研究

【研究機関名および研究代表者氏名】

研究機関：医療法人協和会千里中央病院

研究責任者：医療法人協和会千里中央病院 緩和ケア内科部長 前田一石

担当業務：情報の収集、データ解析

【研究期間】

承認日～2026年3月31日

【対象となる方】

2022年9月1日から2023年3月31日の間に、当院緩和ケア病棟への入院希望にて、他の病院・診療所から文書で診療情報の提供があった患者さん（約400名）

【研究目的・意義】

緩和ケアを受ける患者さんは、身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな問題が複雑に関わりあった、苦痛の強い状態の方がほとんどです。当院では、診療情報提供書などに記載された情報を用いて、緩和ケアを受ける患者さんの抱える問題の複雑性を明らかにするために後ろ向き観察研究を行うこととしています。

この研究で緩和ケアを受ける患者さんの問題の複雑性が理解できるようになれば、より苦痛の強い方に迅速に対応したり、比較的苦痛の程度の軽い方には在宅医療への橋渡しを行ったりと患者さん・ご家族の希望に沿った医療を提供できるようになる可能性があります。

【研究の方法】

診療でカルテに記載されている情報を収集して行う研究です。新たに患者さんにご負担いただくことはありません。

情報：年齢、性別、がんの原発巣、血液検査データ等、診療情報提供書・看護サマリーに記載されている身体症状、精神症状、社会的問題等に関する情報

これらの情報から患者さんの抱える問題の複雑性を明らかにするスコアを付け、どのような人がスコアが高い傾向があるか、スコアが高い人が生存期間や死亡場所の点で他の患者さんと差があるかなどを検討します。得られた結果は、日本緩和医療学会や関連する学会・学術誌での発表を予定しています。

【個人情報の保護】

収集したデータは、解析する前に氏名・ID 番号などの個人情報を削除し、代わりに新しく符合をつけて、どなたのものか分からないように加工します。符号を復元するための情報（対照表）は当院の電子カルテシステム内にパスワードをかけた状態で保管します。学会・論文発表の際、個人を特定することのできる情報は含まないように発表を行います。

収集した情報・データは研究終了後 5 年間保管されます。保管期間終了後にはデータ消去によりデータを廃棄します。なお研究データを統計データとしてまとめたものについては、お問い合わせがあれば開示致しますのでご連絡ください。

この研究は、医療法人協和会千里中央病院の倫理委員会の承認を受け実施されるものです。この研究に関する費用は、文部科学省の科学研究費等を用いて支出されます。本研究に関して、開示すべき利益相反関係はありません。なお、研究に参加された患者さん・ご家族への謝金はございません。

この研究の為にご自分（あるいはご家族）の情報・データ等を使用して欲しくない場合は、下記の問い合わせ先にご連絡ください。研究に参加いただけない場合でも、何らかの不利が生じることはありません。

ご連絡がない場合は、情報・データ等の使用に承諾いただけたものとさせていただきます。

この研究について、わからないことや聞きたいこと、何か心配なことがありましたら、お気軽に下記の連絡先までお問い合わせください。

2023 年 5 月

【問い合わせ先】

研究責任者：前田一石

〒560-0082 大阪府豊中市新千里東町 1-4-3

医療法人協和会千里中央病院 緩和ケア内科

電話：06-6834-1100

メール：i-maeda@kyowakai.com